

〒260-0031 千葉県千葉市中央区新千葉2-17-6
サンコート新千葉102号

TEL:043-301-7262 FAX:043-301-7263

発行責任者：特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター

2010年4月10日発行 第56号 1部100円 E-mail:kidchiba@lily.ocn.ne.jp



虐待によりいたいたいな子どもが命を落とすという事件が続いています。余りにも悲惨すぎる現実に、背筋が凍りつくほどです。虐待そのものは許しがたい行為です。しかし、起こした人だけを非難するだけでは解決しません。そうなる背景や養育者、子育て家庭の置かれた状況に心を馳せ、起こさない社会をつくらなければ、虐待の根絶にはつながらないでしょう。

虐待はなぜいけないのか・・・をあなたは言えますか？

増え続ける児童虐待相談

全国的な児童相談所への虐待相談件数は、42,664件(日本子ども資料年鑑2010のデータ)を超え、増加の傾向は止まりそうにありません。千葉県の児童相談所への相談件数は12,693件(平成20年度)で、中でも虐待相談は2,896件で、前年度より714件増加し、他の相談と比べて突出しています。また、虐待行為の件数は、2,376件です。(身体的虐待858件、ネグレクト758件、心理的虐待706件、性的虐待54件)

平成12年11月に「児童虐待の防止に関する法律」が施行され、被虐待児の早期発見、早期対応等、積極的な対応が可能になったことから、児童相談所への期待も寄せられています。県内には6箇所(中央、市川、柏、銚子、東上総、君津)と千葉市に1箇所の児童相談所があり、「子どもの最善の利益を図るための相談援助活動をしています。」

弱音を吐けるママパライン

「ママパライン」は、全国6箇所で開催されており(石狩、仙台、東京、千葉、愛知、和歌山)子育て中のママやパパ、家庭の不安や悩みを、共感的に聴き、温かく受け止める民間の子育て応援電話です。

虐待の未然防止や愛着形成支援、孤立した子育てを解消するなどの効果があると考えています。匿名の電話という垣根の低さと、批判や指図をせず受け止める傾聴技術により、かけ手が安心して気持ち吐露できることが特徴的です。話を充分聴いてもらうことで、気持ちが落ち着き、前向きな気持ちを取り戻し、また子どもに向き合う気持ちになる、その変化はしばしば劇的で驚くほどです。

ほとんどはママからで、30分近いものが多く、1時間以上の長い電話もあります。イライラ感から「わが子に当たってしまい、これって虐待では?とか、体調を崩して苦しんでいる方も多く、ママ友関係等に悩み、付き合いが苦手な自分を責めています。周囲に話す相手が見つからず、ストレスを溜めこんでいます。」

あなたをひとりしにない・させない! 「ママパライン」

「ママパラインちば」[®]

子どもをもつママ・パパ・家庭の子育ての悩みや不安な気持ちを電話でお話しします。なまえ・住所などはおききません。安心してゆっくりお話しください。電話だからこそももかえる。気軽にダイヤルを!

043-204-9390
毎週金曜日 13:00~16:00

後援：千葉県 「ママパライン」は2008年3月商標登録取得

養育者の置かれた虐待につながる現状

*雇用不安や経済困難等、社会問題を反映して不安やストレスが強まっている。

*周りの母親が立派に見える、自分だけがダメだという気持ちが強まり、自信がなくなる。
*完璧な子育てをしなくてはという気持ちが強く、子どもが思うようにならないと不安や怒りを子どもにぶつけてしまふ。

*人との関係に苦手意識があり臆病になり、結果的に個々に孤立している。

*周囲に気軽に話せる人がいない。

子どもを守るために、親の支援を

子育てをしている親や家庭をサポートすることが、結果的に子どもの安心や幸せにつながります。養育者が自信をもって一歩を踏み出し、解決策を自分で決めていけるよう、いっしょに考え、背中を押してあげることです。今の時代は、解決方法や知恵の伝授も求められています。

虐待を未然防止できる地域社会を

虐待は誰でも起こす可能性があり、特別な人が起こすことではないという言葉かけや、暮らしの中でさりげなく温かいまなざしを持つ市民でありたいと思います。虐待はなぜいけないのかを、言葉で言える人を増やすことも大切です。虐待等において市民サイドのできることは、「未然防止予防」だと考えます。個人・団体がする支援にはそれぞれ特色と限界があり、児童相談所等、行政との交流や連携の強化をしていく必要があります。

ITに強くない私たち！ 本当にできるかな？ とにかくチャレンジ！ そして“眼からうろこ！”

これは使える！ 地域SNS【あみっぴい】

地域SNSとは、インターネットを使った、人やグループの新しいつながりを築くソーシャルネットワーキングサービスのことです。

この2年、西千葉で開設されている地域SNS【あみっぴい】上に、子育て応援コミュニティ「すもーるすてっぷ」をつくり、掲示板、日記などで交流し、子育て応援の新しいツールとしてSNSがどのような効果を生み出したのか検証する

文部科学省の社会実験に参加しました。その結果、今までになかった、人と人、人と街、人と情報のつながりが新しくどんどんできることがわかってきました。ITに苦手意識のないキーパーソンがいれば、地域ごとのコミュニティをつくり、だれでも活用できます。あなたの地域でもいかがですか？

紙情報を待たないで、早く、広く情報が伝わる

「すもーるすてっぷ」を利用して便利になったこと
トップ3（参加者アンケートより）
子ども関係団体のイベント、催し物についての情報が得られた（46%）
さまざまな社会の問題や市民活動についての情報が得られた（39%）
趣味、遊び、サークル、ママ友づくり等の情報が得られた（32%）
広域の情報から身近な地域の情報まで、今日の情報、人のうごきが掲示板でその日のうちに早く伝わり、イベントへの参加表明、取り消しが出来るのはもちろん、他の人の動向もつかむことができ、仲間へのよびかけを一斉メールで再発信することもできます。

異なる世代、異なる地域の人が ひよんなことからつながる

【あみっぴい】で広がった「まちのこんにちは」 （日記のコメントより）

今日はマイアミーゴのNさんがMさんを誘って子育て中のママさん達を取材したいと初めてサークル会に登場。子育てしていて良かった事は、おつきあいする人の幅が広がった事。それは【あみっぴい】にも通じる。たくさんエネルギーをもらった一日だった。もらったもらった～エネルギーもらったね～ たまに自己肯定感を喪失するけど、今日は存在価値を認めてもらい、幸せな気持ちで眠りにつけます。喜びやつらさを共有して乗り越えられる仲間がいることに感謝してます ウフフ！確かに私もへこんでる時はいつもサークルのメンバーに励ましてもらって勇気もらってます。サークル会が、Nさん、Mさんの登場で、“化学反応”を起こし、沸騰してますね。つくづく大人も「たてわり交流」が必要だなんて思う。

【あみっぴい】登録方法

子ども劇場千葉県センターに、「登録希望」のメールかFAXを送る
FAX：043-301-7263
E-mail：kidchiba@lily.ocn.ne.jp
あなたのメールに招待メールが届く 手順に従って登録する

県センターが丁寧にサポート



あみっぴいのルール
「あみっぴい」は、“であった系”SNSです。すでに「あみっぴい」に参加している知っている人から招待してもらい、本名で登録するので、トラブルがありません。
世代を超えたコミュニケーションを活性化させるために、インターネットでしか使われない用語を使うのは控えますので、わかりやすいです。



ITだから、働くお父さんも夜「すもーるすてっぷ」をみて、 休日の「オン会」に参加できる

“子どもは風の子！”ふくろう広場で遊ぼう（「オン会」レポートより）



子育て中のお父さんに得意なことを発揮してもらおうこと
子どもたちがとことんやりたい遊びをあそびこむこと
誰でも自由に立ち寄り参加できること
の3点を柱に、西千葉駅前、ゆりの木商店街の「第三土曜市」に参加。きっかけは、「お年玉にペーブレードをもらった！」という日記に、西千葉で働くお父さんが書き込んだことが「オン会」に発展したのでした。ペーゴマに巧みなお父さん対子どもたちが、廃物利用のスタジアムの中で「ペーゴマ対ペーブレード」で本気の対決。つづいて、お父さんがもう一人のお父さんを誘っての絵本のみきかせと紙芝居に、子どもも大人も大爆笑でした。

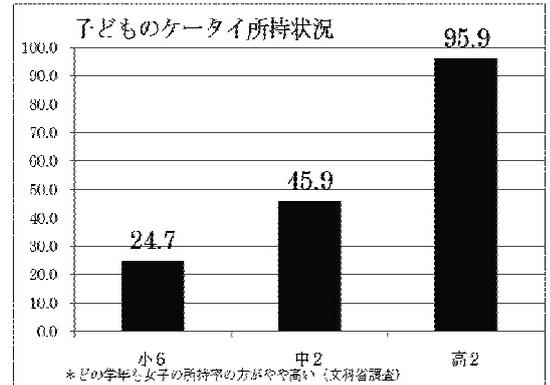


リテラシーこそ大切!



(「SNSを楽しく有効に活用する大人になるための「ITリテラシー講座」より抜粋。千葉大学准教授の藤川大祐さんの著書『ちょっと待ってケータイ「ケータイ依存」我が子を救う親と子のルール』から引用)

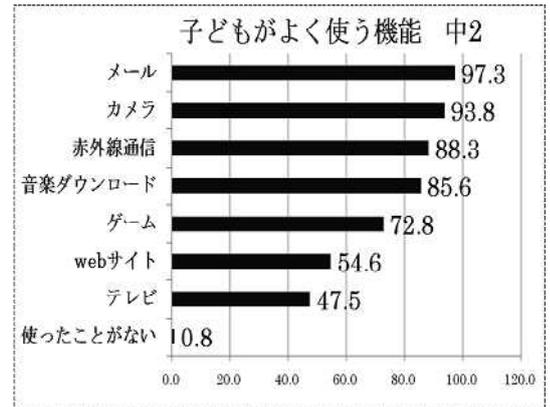
子どもの携帯電話に関わる問題が頻りに報道され注目されていますが、今や、子どもたちにとって携帯電話は「ケータイ」と呼ばれる様々な用途に使われる「多機能情報端末機」をさしています。危険だからといってもつことを禁止するのではなく、持たせるかどうかを基本的に各家庭に任せただ、携帯電話を利用する子どもが適切に利用できる環境をつくっていくことが大事です。事件に巻き込まれるのを防ぐことはもちろん、片時も離さない「ケータイ依存」に陥らないように知恵を出し合い共有する必要があります。



「ケータイがほしい!!」と言われたら

まず、「ちょっと待って」と子どもに言い、子どもと話し合しましょう。

- ケータイを持つこと目的は何か
- ケータイを持つことで、子ども本人や家族の生活はどう変わるのか
- ケータイに関わるトラブルにはどのようなものがありどうすれば防げるのか
- ケータイに関わる費用はどれくらいで、誰がどうやって負担するのか
- どのようなルールがあれば適切にケータイと付き合えるのか



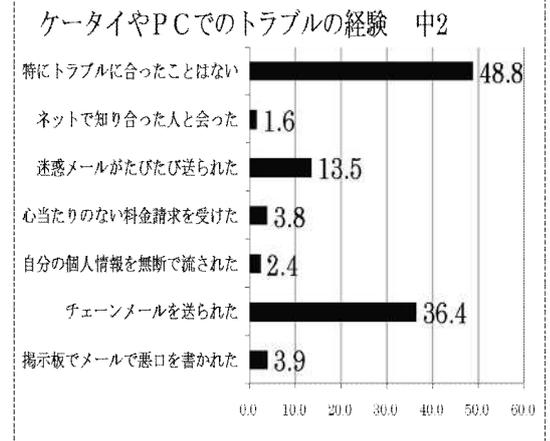
ルール作りのポイント

家庭での情報モラル教育のスタートとして「ルールづくり」を提案してみましょう

ケータイを使う時間と場所を制限はケータイルールの基本です
長時間の使用で生活のバランスを崩すことのないように気をつけ家族の生活にあった時間での利用を。また使っている子どもの様子を見れば、ある程度の友人関係が見えるようになります。

料金負担と制限

ケータイの公式メニューの中にある有料コンテンツも子どもへの誘惑です。音楽のダウンロードなどで金額がかさんでくる場合もあります。一定以上の料金は小遣いから出すなどのルールを決めてみましょう。



ネットのいい面と難しいところをしっかりと伝え話し合いで解決をプロフやブログなどでトラブルに巻き込まれることもありますが、インターネットを通じたコミュニケーションを多くの子どもたちはバランスを取りながら楽しんでいます。子どものケータイに有害なサイトをブロックするフィルタリングをかける基本的な安全を確保しましょう。

一度決めたルールも変えていくことも必要

今のルールでも不便なことがあれば話し合っ変えていくことも大切です。

ケータイを持たせたらケータイ以外の時間の充実を

ケータイをはじめテレビやゲーム、パソコンなど電子的メディアはついつい使いすぎてしまう特性があります。子どものうちに様々な体験をしたほうがよいのに、ケータイの利用によって犠牲になっていないか保護者も子ども自身も注意しましょう。

家庭や地域で活用してください

時には家庭や地域で具体的な問題を扱う情報モラル教育をおすすめします。「ちょっと待って、ケータイ」は文部科学省「ネット安心安全全国推進会議」によるDVD教材でドラマ仕立てで携帯電話をめぐるトラブルについて学ぶことができます。文部科学省のサイト「エル・ネット」でも視聴できます。

下記ホームページも参考に

NPO 法人企業教育研究会

<http://homepage2.nifty.com/dfujikawa/>





フィーリングパフォーマンス「ぐるぐる」

『子どもにとって、こうなったら いいよね!という地域』をめざして
 ひらけ夢 ステージ・ちば2009
 人と人がつながり、生の舞台 芸術との出会いの機会をつくる



わらべうた 他「ふわふわ山の音楽会」



大型舞台劇「森は生きている」

めざしたこと

永く、子どもや親子が生舞台に触れる機会を創ってきたが、千葉県内では、子どもたちが生の舞台に触れる機会が年々減っている。生活している地域の子どもの現状を出し合い、「こうなったらいいね!こういう地域にしたいね!」という課題を見つけ、行政・地域の人とつながりながら、文化芸術活動を通じて解決していくことをめざした。また、子どもの成長発達にとって、生の舞台芸術が欠かせないことを広めていきたい。



「開催地をつないだ手づくりタペストリー」

大事にしたポイント1

子ども文化地域コーディネーターの存在
 地域で子どもに関わっている異分野の団体や行政・個人をつなぎ、実行委員会を立ち上げて実施した。地域に住み、子ども・文化・地域をつなぐ専門性を持った「子ども文化地域コーディネーター」が、様々な地域資源の発掘、ニーズの把握、人と人をつなぐ等、コーディネーターの役割を果たした。



人形劇「ともだちはブブとト」

大事にしたポイント2

専門家がいった県域実行委員会で理念の確認と交流

舞台芸術家や文化芸術でまちづくりを実践している方から鑑賞の理念や意義・子どもの育ちへの必要性を学んだ。また地域での実行委員会の立ち上げ・進め方への知恵をもらった。参加者どうしお互いの状況を話し合いながら、抱えている課題に対して具体的なアドバイスをもらった。

【実行委員メンバー】

- 永野むつみさん(人形劇団びばたあむ代表)
- 半田晶子さん(NPO法人まちアート・夢虫理事長)
- 参加団体(5団体)
- NPO法人子ども劇場千葉県センター

参加団体	日程	作品名	参加者数
●NPO法人子どもプラザ成田	2009・11・6(金)・7(土)	「チップとチョコ」 (人形劇団びばたあむ)	332人
NPO法人流山おやこ劇場	2009・12・3(木)	「ふわふわ山の音楽会」 (山の音楽舎)	63人
NPO法人いんざい子ども劇場	2009・12・10(木)	「ぐるぐる」(CAN青芸)	68人
NPO法人市川子ども文化ステーション	2010・1・31(日)	「森は生きている」 (劇団仲間)	1,100人
白井子ども劇場	2010・3・20(土)	「ともだちはブブとト」 (くわえ・ぱべつとステージ)	160人

大事にしたポイント3

創設した「子どもアートステージファンド」の活用

「子どもアートステージファンド」は、第一にチャレンジ性、そして実現性・地域社会への貢献性の要件で、総合的に審査選考し助成団体を決定した。今回ファンドに応募した団体は、公開プレゼンテーションに取り組んだことで、自分たちの事業により確信をもち、審査員のコメントからの気づき、励ましのエールや実施へのエネルギーをもらった。

【審査員】

- 永野むつみさん(人形劇団びばたあむ代表)
- 半田晶子さん(NPO法人まちアート・夢虫理事長)
- 岡田泰子さん(子ども劇場千葉県センター理事長)



人形劇「チップとチョコ」

「子どもアートステージファンド」

～私の子育て期のおもいを未来につなぐ～

県内中の子どもたちに、生の舞台芸術との出会いの場を絶やさず届けるために、多くの方々から寄附を募り、財政的にサポートする。

詳しくは携帯電話で見てね!

ひらけ夢ステージ・ちば2
 2010 参加団体募集中



チャレンジしなければ何もはじまらない!

●開発中の地域を子どもが安心して育つ地域にしたい。子どもが文化芸術に触れる意味・良さを自分の言葉で伝えられる大人を増やしたい。(成田)

子どもたちの文化環境の土台作りを地域の人と連携してつくりたい!子どもたちの文化環境は、行政だけでは担えない状況であり、行政とNPOとの協働で一歩踏み出したい。(流山)

生の文化体験への関心が薄い地域に、特に乳幼児とその親・家庭に焦点をあて、関心を高めていきたい。生の舞台のよさを知り、共有(共感)する楽しさを実感してもらおう。(いんざい)

地域のいろいろな人たちとつながり、子どもと文化に関する地域課題を見つけあい、共有して子どもの文化芸術を応援する人を増やしたい。(市川)

西白井・南白井の2つの開発地域で、子どもに視点を当て、子育てにやさしいまちづくりをめざしたい。そのためにプロの作品の力を借りたい。(白井)

●乳幼児をもつ親・地元企業の社長が実行委員に!地域の人を誘って遊び会や講演会等、地域で人を知り仲良くなる活動を重ね、生の舞台の必要性・意義や仲間づくりの大切さを語り伝えて交流した。(成田)

地域の理解者がいっしょに活動する!地域で実行委員会を立ち上げ理解者を増やすことを大切に。関係行政(子育て支援センター、子ども家庭課)から事業への理解と広報の協力を得て、地域の隅々まで届く広報周知に力を入れた。(流山)

実行委員会が年齢が30代から70代後半まで幅広く、様々な立場の実行委員により活性化!生の舞台鑑賞が子育て支援となることを共有して進め、0.1.2.3歳児と親のための生の舞台鑑賞をはじめて届けた。(いんざい)

行政、地域、NPOなど12団体のはじめてのネットワークづくり!子どもと文化という視点に特化したいろいろな分野が結集し、大型作品に取り組むことで、実感的な文化芸術への理解者を増やした。(市川)

「しろい人形劇まつり」を行政、幼児サークル、NPOと連携し実施した。2つの地域に重点的な広報周知をした。(白井)

●開発中の「はなのき台」で、子育ての仲間が増え、子どもが舞台芸術に出会う大切さを、運営の中心者や地域の大人が、言葉で伝えられるようになり、コーディネーターとしての力をつけた。(成田)

自信をもってお薦めできる作品なら、有料でも鑑賞のニーズはあることがはっきり見えた、協働によりこれまで届かなかった当事者に情報が届いた。(流山)

参加した親子が生文化芸術に強い感動を味わった。実行委員会全体でも鑑賞に目を向け、またいろいろな団体の現状を知り刺激となったり、それぞれにできることで力を出し合えた。(いんざい)

実行委員会で話し合う場を重ねたことにより、子どもの文化に目を向ける理解者・応援者が増えた。1,100人の参加者を迎え、子どもや親子の楽しむ様子を共有し楽しんだ。(市川)

ほっとする空間となって、地域のたくさんの親子が参加して楽しんだ。当日はプロの舞台、団体情報コーナー、乳幼児の広場や気軽に休める喫茶室もあり、子育てにやさしい環境や雰囲気をつくり出すことができた。(白井)

結果としてどうなりましたか?

そのためにどんなチャレンジをしましたか?

あなたの地域をどうしたいですか?

子ども・子育てに関する国・千葉県・千葉市の施策概要 紹介

子どもや子育てしている世代に直接関わる計画の概要を紹介します。子どもの権利条約に謳われている「子どもの最善の利益」につながっていくのでしょうか。

国の子ども・子育てビジョン

子どもと子育てを応援する社会 子どもが主人公（チルドレンファースト） 「少子化対策」から「子ども子育て支援」へ 仕事と子育ての調和

基本的な考え方 1. 社会全体で子育てを支える 2. 「希望」がかなえられる
3つの大切な姿勢 1. 生命と育ちを大切にす 2. 困っている声に応える 3. 生活を支える

千葉県教育振興基本計画

「千葉県教育の戦略的なビジョン」のもと森田知事が設置した有識者会議の提言を踏まえ、緊急かつ重点的に取り組む施策を、下記のようなプロジェクトで推進されていきます。特徴としては武道を通じた伝統と文化に触れる教育の推進や、家庭や地域における子どもの読書活動の充実を支援していくこと、さらに「学校を核とした県内 1,000 箇所ニ集会」を活用し、学校や地域ぐるみで道徳教育を推進していくことが打ち出されています。また、家庭の教育力の向上を支援するため「親学」の導入も上げられています。

【基本的な取り組み方針】「ふれる」、「かかわる」、そして「つながる」

【3つのプロジェクトと14の重点施策】

過去と未来をつなぎ世界へはばたく人材を育てる。～夢・チャレンジプロジェクト～

志を持って、失敗を恐れずチャレンジをする人材を育てる。

歴史を伝統文化に親しみ、郷土と国を愛する心を育てる。

異文化を理解し、国際的コミュニケーション力のある国際人を育てる。

ちばのポテンシャル（潜在能力）を生かした教育立県の土台づくり～元気プロジェクト～

読書立県「ちば」を推進する。

多様な自然、産業、人材などを生かした体験活動を推進する。

教育現場を重視し、教職員の質と教育力の高さでトップを目指す。

道徳性を高める実践的な人間教育を推進する。

フェアプレーの精神を育てるスポーツ、健康、体力づくりと食育を推進する。

一人一人の特性に目を向けた特別支援教育を推進する。

豊かな学びを支える学校づくり

安全・安心な教育環境の整備

教育の原点としての家庭の教育力を高め、人づくりのために力をつなげる～チームスピリットプロジェクト～

「親学」の導入など、家庭教育を支援する。

学校教育と社会教育、国公立教育、産、学、官、公、民などのネットワークを構築する

様々な困難を抱えている子どもとその家庭を支援する取り組みを強化し教育のセーフティーネットを確保する

千葉市次世代育成支援行動計画後期計画

平成 17 年に策定された計画が 5 年を経過したことから、前期計画の評価等を踏まえ新たな課題に対応するため、平成 22 年度から 5 年間の後期計画が策定されました。計画の目的や施策体系等の基本的な骨組みは変更されていません。新たな取り組みとして「こどもの参画」が基本目標へ追加され「こどもの参画によるまちづくり、こどもの自立支援」が施策として追加されました。また、子どもに関する課題に一体で取り組むために子ども家庭部と市教委青少年課を統合し「子ども未来局」を新設しました。

（こども参画の計画）

基本目標 1. 次世代を担うこどもの参画の推進～子どもが将来に夢や希望を持てるように～

基本施策 1. こどもの参画によるまちづくりを推進する

まちづくりは未来をつくることであり、未来を一番もっているこどもたちの意見が重要です。こどもたちが夢や希望を持てる社会を築くため、地域社会を構成する一員として将来の担い手としてこどもたち自らの意見を表明し、市政やまちづくりに反映できる仕組みづくりを推進する。

計画事業 1. こどもの参画基本計画の策定 2. 「こども参画」のガイドライン策定 3. 「こどもの力」フォーラムの開催 4. 「こどもの力」ワークショップの開催 5. こどもの提言実現モデル事業 6. こども参画条例等の調査・研究

基本施策 2. こどもの自立を支援する

計画事業 7. こどものまち開催 8. こども大学への共催 9. 「こどもに信頼される大人」に関する調査研究

『父親になるということ』

特定非営利活動法人ファザーリング・ジャパン会員

久留島 太郎



父親であることを意識したのはいつからだろうかと考え、それは2年前に自宅から自転車で5分ほどの場所にある幼稚園に転職してきてからだろう。

仕事が幼稚園教諭ということや、4人の息子に恵まれたこともあり、子どものことは知っていると思いこんでいた。しかし、それは全くの間違いであった。それまでは子どもたちが起きる前に仕事に出かけ、子どもたちが夕飯を食べ終えてから帰宅する。そして、週末に子どもたちと遊ぶ生活。なにからなにまで母ちゃん任せ（これは今でもあまり変わらないが・・・）しかし、そんな生活が子どもたちと朝食を一緒に食べ、仕事から帰り一緒に風呂に入り、そして夕飯を共にするという生活に変わった時、初めて子どもと向き合うことの意味を考えさせられた。それまでは、どこかで幼稚園教諭としてどう子育てに関わるかを考えていた自分がいた。しかし、転職して今の職場に来てからは、一人の父親として子どもと向き合うことの大切さにやっと気づくことができた。

その頃、NPO 法人ファザーリング・ジャパンの代表である安藤哲也と子育てやワークライフバランス、そして共通の趣味である音楽の話をする機会があった。

「笑っているパパを増やして世の中を変えようぜ！ロククンロールだろ？それって！」と肩をたたかれ意気投合。

その時に息子が通っている幼稚園で得られたパパ友の顔が浮かんできた。自分の身近に笑顔の仲間がいることがとても心強かった。そして、自分ができることは何かを考えながら NPO 法人ファザーリング・ジャパンで活動を始めた。

子どもが地域で大きくなるにつれて、それまではそれほど大切に思っていなかった地域というものがだんだんと自分の大切な地元という意識に変わってきた。

その頃、西千葉のコミュニケーションサイトである「あみっぴい」という地域 SNS に出会い、そこで子育て支援の「すもーるすてっぷ nextstep」というコミュニティを見つけ参加登録することにした。

それまでは都内でのイベントを企画することが多かったが、だんだんと地元の繋がりが増えてきた。『地域のつながりは自分や子どもを育ててくれる』そのことに気付いてから、地元が愛おしいものとなってきた。

子どもたちが私に教えてくれたもの。それは地域にコミットすることの大切さである。それは家庭や仕事と同じくらい大切なもの。家庭、仕事、地域どれが欠けても豊かな生き方は出来ないことを、今強く感じている。

NPOではたらく人

『実社会で活用していける生きた学力を身につけてほしい』

NPO 法人企業教育研究会理事 阿部 学



NPO 法人企業教育研究会（略称：ACE）では、企業等と連携しながら、新しい授業・教材の開発をし、主に学校現場に提供させていただくという活動を行っています。子どもたちにたくさんの「大人」とかわりながら、実社会で活用していける生きた学力を身につけてほしいというのが私たちの願いです。「次世代を育成する」という社会貢献のひとつのあり方として、これまで多くの方々にご協力をいただけてきました。

ACE が NPO 法人として本格的に活動を始めたのは、2003年3月です。私は当時、千葉大学教育学部の2年生でした。卒業後の進路については、中学校の先生になろうかな・・・と漠然と考えてはいましたが、明確な目標に向かって突き進むということはなかったように思います。バンドを組んで全国を旅してまわるなど、どちらかというと大いに遊んでいる類の学生でした。そうしたなか、所属する研究室（ACE 理事長でもある藤川大祐研究室）の先生、先輩方に誘われ ACE の立ち上げにかかわることになりました。私自身、最初はなんとなく参加した NPO の活動でしたが、気付けば今年で7年目・・・何だかあっという間に感じます。

この7年間、たくさんの方々とは交流させていただきました。学生の身分でありながら、企業さんと協同でお仕事をさせていただくという経験は、何にも代え難いものでした。学生でしかできない無茶なこともしてきたし、学生として甘えてはられない難しさを学ぶこともありました。学生のうちから、企業さんを始め多くの「大人」と触れ合い、色々な事を教えていただいたことは、とても幸せなことでした。みなさんの支えがあり、一人として少しずつ成長してこられたかなと思っています。そうした意味で、私にとっての NPO 活動は出会いそのものです。

NPO 活動をしていなければ出会えなかったであろう方たちもたくさんいます。

2009年度には『SNS「あみっぴい」を活用した家庭教育支援事業』のおける、メディアリテラシーをテーマとした講座で講師をつとめさせていただきました。

これまでは、学校関係者や企業の方との交流が多かったのですが、地域のみなさんとお話できるよい機会をいただきました。新たな出会いに感謝しつつ、これからも活動を続けていきたいと思っています。

紙芝居で子どもたちに伝えたい

ちば・戦争体験を伝える会 市川まり子



自転車の荷台に紙芝居の箱を載せて、カランカランと鐘を鳴らして「紙芝居屋さんだよ～」と初めてやったのは、確か14～5年前。地域の小学校のバザーで体育館の入口に出した「わたあめ屋さん」の順番を待っている子どもたちのための紙芝居でした。

紙芝居屋は一度やったらやめられませんか。小・中学校の校庭や体育館、公園や駅前、市民活動センターやきぼーる、フクダ電子アリーナの通路など様々な場所で、子どもから大人まで立ったりしゃがんだり車いすだったりして、1人でも50人でも、食い入るように紙芝居に集中してくださったり、何かやりながら耳を傾けてくださったり、やる側と観る側、その場に居合わせる人々との一体感が得られるとき、幸せな思いでいっぱいになります。



市川さんの手作りによる紙しばい

演目は、昔話もありますが、私のオリジナルで、「ちいちゃんの赤いかさ」「わたあめのゆめ」「子どもの権利ってなに？」、児童労働をテーマにした「エモンのふるさと」、「教育基本法改悪に反対する紙芝居」を作り直した「いっしょに生きる」と、その時々、こんなテーマで作ってほしいとの依頼を受けたりして、子どもたちに伝えたい私の思いを紙芝居にしてきました。専門に学んだ覚えはなく、「えっ??」といった絵もあります。

5年ほど前に、50～80代の皆さんといっしょに「ちば・戦争体験を伝える会」を作り、二度と悲惨な戦争を繰り返さないためにと、千葉空襲などの戦争体験を子どもや若い世代に伝える活動を始めました。その中で、体験者に絵を描いていただいて、絵を見せながら話していただくうちに、自然に紙芝居作りが始まりました。体験者自身が文を書き絵を描き、絵だけ知人に頼んだり、体験談を基に私が描いたりして、10作品が完成しています。これらの紙芝居には、私だけでなく、体験者自身、そして同じ様な体験をされた多くの人々の思いがたっぷり込められています。お声かけいただければ、紙芝居を持って伺います。(TEL/FAX043-262-9534)

「子ども文化最前線」によせて

市川まり子さんの「紙芝居屋さん」のお話を読んで、テレビで森繁久弥さんが奥様の思い出を語られていた印象的なお話を思い出しました。

それは、戦後満州から引き上げてくる時のお話でした。身の回りの物を持ち出すのが精一杯で、子どもの手を引き駅に向かう途中、奥様の背中を見ると、何か四角いものが張り付いていた。良く見るとそれは風呂敷に包んだ紙芝居の道具だったそうです。そして、奥様はなにもすることがない汽車の中で、子どもたちを集めて紙芝居を見せてあげたそうです。市川さんの「紙芝居屋さん」の活動も、共通するところがあると感じました。

どんな状況でもまず「こども」のことを考えて行動する。それも「子どもの心を守る」ことに心を砕くことができる。森繁久弥さんの奥様や市川さんのような、そんな大人であるように努力したいと思いました。

編集後記

先日、「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」というイベントを体験しました。完全に光を遮断した真っ暗闇の空間で1時間ほど、視覚障害者のアテンドのサポートのもと、7人のグループで様々なシーンを体験します。そこには公園があり、カフェがあります。木々の肌触りを手で感じ、足元で砂場の存在を確かめ、耳を澄ませば鳥のさえずりも聞こえてきます。カフェではティータイムを楽しみます。声をかければ返事があり一人ではないと落ち着く。不安さは誰かに触れればぬくもりが伝わってきてほっとする。視覚以外の感覚が活かされていると実感します。日常生活の中でも、子どもたちに安心感やぬくもりが感じられる居場所をつくっていきたいと思いました。(齊藤)

舞台 なま情報

- 県内の子ども劇場の鑑賞会で観たい作品がありましたら直接その団体にお問い合わせください。
- 下見等については千葉県内の申し合わせ
 - ・役員の下見は5名まで無料
 - ・その子どもは1人1,000円
 - ・その他は1人2,000円
(子ども、おとな同額)

第56号別冊 <2010年5月~7月>

舞台劇

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
◇ 劇団コーロ	のんのんばあとオレ	5/8	17:45	習志野市民会館	ならしの	小学生以上
◇ 劇団コーロ	のんのんばあとオレ	5/9	17:30	千葉市美浜文化ホール	千葉西	小学生以上
◇ CAN青芸	君がいるから	5/22	17:00	成田小学校アリーナ	成田	小学生以上
◇ 演劇集団 円	おばけりんご はじめてのおしばいその2-	6/27	未定	稲毛サティ文化ホール	千葉中央	幼児と大人
◇ アートインAsibina	だいきらい	7/10	15:00	船橋市内公民館	船橋	幼児~小6
◇ 語り芝居の会	で・え・く	7/11	19:00	市川市文化会館小ホール	市川北	小3~大人
◇ 劇団風の子	なんかよーかい	7/11	14:00	四街道公民館	四街道	幼児~大人
◇ 劇団風の子	なんかよーかい	7/17	未定	流山市生涯学習センター	流山	幼児~大人
◇ 劇団風の子	なんかよーかい	7/18	未定	市川市内	市川中央	幼児~大人

人形劇・影絵劇

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
☆ 人形劇団ひとみ座	リスおとかめ吉	5/23	11:00	市川市行徳公民館	市川行徳	幼児・大人
☆ 人形劇団 京芸	潜水海賊 キャプテン・グック	5/25	18:00	佐倉市志津コミュニティセンター	佐倉	4歳~小学生
☆ ホケキョ影絵芝居	ちくわ仙人	6/5	16:30	八千代台文化センター	八千代	高学年
☆ ホケキョ影絵芝居	桃の浮舟	6/5	19:00	八千代台文化センター	八千代	中学生以上
☆ 人形劇団 京芸	火ようびのごちそうはひきがえる	6/6	14:00	習志野市新習志野公民館	ならしの	幼児~小3
☆ 劇団かかし座	長靴をはいたねこ	7/4	14:00	八千代市民会館	八千代	幼児・低学年
☆ 人形劇団むすび座	おまえうまそうだな ねずみのすもう	7/4	14:00	成田中央公民館 講堂	成田	低学年
☆ 人形劇団むすび座	おまえうまそうだな ねずみのすもう	7/10	未定	市川市南行徳公民館	市川行徳	幼児~大人
☆ 人形劇団むすび座	おまえうまそうだな ねずみのすもう	7/11	14:00	市川市内	市川北	幼児~大人

芸能・他

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
◎ 日本独楽博物館	こまのおっちゃんのこまのサーカス	5/9	13:30	市川市勤労福祉センター	市川北	小1~大人
◎ SORAフェニーボーンズ	コメディショー「TOKYOゾンビーズ」	5/29	17:30	市川市南行徳公民館	市川行徳	小学生~大人
◎ OMU☆CHA	笑って楽しいアカペラコンサート	6/26	15:00	佐倉市西志津ふれあいセンター	佐倉	乳幼児~小4
◎ OMU☆CHA	笑って楽しいアカペラコンサート	6/26	18:00	佐倉市西志津ふれあいセンター	佐倉	小5以上

きらきらわくわく情報

2010年5月～7月

活動	日程	場所	主催団体
・ 幼児サークル クレヨンクラブ木曜日コース	5/6・13・27.6/10・24.7/8	市川市行徳公民館	市川行徳
・ 幼児サークル のびのびキッズ玉造	5/6・20.6/10・24.7/8・15	成田市玉造公民館	成田
・ 未就園児と親のワークショップ おやこリズム体操	5/6・14・20・28.	千葉市文化センター第2リハーサル室	千葉中央
・ 未就園児とママの遊びあい「プレンジⅡ」	5/7・21.6/4・25.7/2・16	市川市曾谷公民館	市川北
・ 幼児サークル のびのびキッズ福祉館	5/7・21.6/11・25.7/9・16	成田市保健福祉館	成田
・ 乳幼児とお母さんのたまり場「たまごキッズ」	5/7・14・21・28	四街道地区コミュニティーセンター	四街道
・ 未就園児とママの遊びあい「プレンジⅡ」	5/10・17・24.6/7・21.7/5・12	市川市東部公民館	市川北
・ 幼児サークル わくわくキッズ	5/11・25.6/15・22	市川市勤労福祉センター	市川中央
・ 幼児サークル クレヨンクラブ火曜日コース	5/11・25.6/8・22.7/6	市川市行徳駅前公園研修室他	市川行徳
・ 幼児ワークショップ『びよんびよん』 腹話術	5/11	アースメイト	八千代
・ 幼児サークル のびのびキッズ江井須	5/11・25.6/8・22.7/6・13	成田市江井須区民館	成田
・ 0～3歳親子のサークル るーぶる	5/12・19・26.6/2・16・23.7/7・21・28	松戸市柿の木台公園体育館	松戸
・ お母さんの居場所「ぶらっとhome」	5/12・19・26.6/23・30.7/7・14・21・28	市川市大野地域ふれあい館	市川北
・ てあそびうたと親子体操	5/12・26.6/9・23.7/14・28	習志野市内公民館	ならしの
・ 幼児サークル びよんびよんキッズ	5/13・27.6/3・17	市川市信篤公民館	市川中央
・ 幼児ワークショップ『ミニびよんびよん』 リトミック	5/13	アースメイト	八千代
・ 幼児サークル わいわいキッズ	5/14・28.6/11・25	市川駅南公民館	市川中央
・ お母さんの居場所「こーひーかつぶ」	5/17.6/7・21.7/5	市川市中央公民館菅野分館	市川北
・ 未就園児とお母さんのためのあそび場 ぴっぴ	5/18・27.6/10・22.7/6・15	袖ヶ浦市神納コミュニティーセンター	袖ヶ浦
・ 移動あそび場「こっこちゃんリヤカー隊」	5/19.6/16	佐倉市内公園	佐倉
・ 幼児ワークショップ『ミニびよんびよん』 英語であそぼ	5/20	アースメイト	八千代
・ 幼児サークル「ぶらんこ」	5/21.6/18.7/9	流山市内公民館	流山
・ 幼児サークル どんぐりくらぶ	5/25.6/1・22・29.7/6	白井市内公園他	白井
・ 幼児ワークショップ『びよんびよん』 親子遊び	5/25	アースメイト	八千代
・ 未就園児と親のワークショップ おやこリズム体操	6/4・10・18・24	千葉市文化センター第2リハーサル室	千葉中央
・ 乳幼児とお母さんのたまり場「たまごキッズ」	6/4・11・18・25	四街道地区コミュニティーセンター	四街道
・ 幼児ワークショップ『びよんびよん』 親子ワーク	6/8	アースメイト	八千代
・ 幼児ワークショップ『ミニびよんびよん』 リトミック	6/10	アースメイト	八千代
・ 幼児ワークショップ『ミニびよんびよん』 じゃが芋掘り	6/24	八千代市勝田台	八千代
・ 幼児ワークショップ『ミニびよんびよん』 オペラコンサート	7/1	アースメイト	八千代
・ 未就園児と親のワークショップ おやこリズム体操	7/2・8	千葉市文化センター第2リハーサル室	千葉中央
・ 乳幼児とお母さんのたまり場「たまごキッズ」	7/2・9・16・23	四街道地区コミュニティーセンター	四街道
・ 幼児ワークショップ『びよんびよん』 縁日遊び	7/6	八千代市勝田台	八千代
・ 幼児ワークショップ『ミニびよんびよん』 3B体操	7/15	アースメイト	八千代
・ 幼児ワークショップ『びよんびよん』 リズム遊び	7/13	アースメイト	八千代
・ 幼児とお母さんのゆったりスペース絵本の森	5/未定.6/未定.7/未定	千葉市美浜保健福祉センター	千葉西
・ 子育てひろば「こどもっと」	毎週木	松戸 天神庵	松戸
・ 子育て支援 ぶらっとたまり場 はっぱのおうち	毎週火・水	こどもユニットWakaba事務所	Wakaba

乳幼児の活動



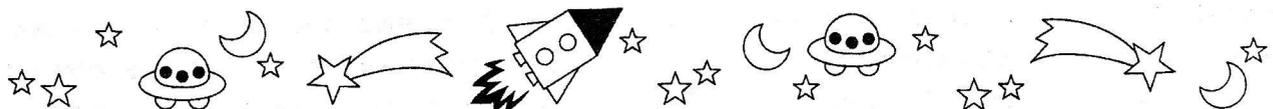
いろいろ体験活動



活動	日程	場所	主催団体
▪ 自分だけの手作りおもちゃ	5/1	緑区内	緑区子どもS・C
▪ ソーラン自主練習	5/1・15.6/5・19.7/3・17	四街道市千代田公民館	四街道
▪ 放課後子ども教室「出会い体験夢ひろば」	5/7・12・14・19・21・26・28	四街道地区コミュニティーセンター	四街道
▪ ソーラン自主練習	5/8・22.6/12・26.7/10・24	四街道市立南小学校	四街道
▪ 親子影絵ワークみんなで作ってあそぶ影絵ごっこ	5/9	八千代市総合生涯学習プラザ	八千代
▪ バザー	5/16	行徳駅前公園	市川行徳
▪ ダンボールであそぼう!	5/16	印西 アルカサル中庭	いんざい
▪ おやこまつり	5/23	八街市営キャンプ場	やちまた
▪ 落花生の種まき	5/29	印西市内の畑	いんざい
▪ 放課後子ども教室「出会い体験夢ひろば」	6/2・4・9・11・16・18・23・25・30	四街道地区コミュニティーセンター	四街道
▪ 泥んこ田植え	6/5	緑区小山田町の田んぼ	緑区子どもS・C
▪ あそびっく ダンボールあそび	6/15	清水口小学校	白井
▪ バス見学 茨城県のヤクルト&キューピー	6/15	茨城県	いんざい
▪ ティラノザウルスをつくろう	6/15	成田市公津の杜小学校体育館	成田
▪ ぱんづくり選手権	6/20	八街市中央公民館	やちまた
▪ 100人キャンプ	6/26~27	市川少年自然の家	市川行徳
▪ 放課後子ども教室「出会い体験夢ひろば」	7/2・7・9・14・16・21・23・28・30	四街道地区コミュニティーセンター	四街道
▪ ガキ森流しそめん	7/3	ガキ大将の森	八千代
▪ 中国留学生のお姉さんと中華料理を作ろう	7/10	おゆみ野	緑区子どもS・C
▪ 流しそめん	7/11	八街市営キャンプ場	やちまた
▪ 流しそめん&キャンプファイヤー	7/25	平岡自然の家	いんざい
▪ 夏の和太鼓体験	7/26	勝田台文化センター	八千代
▪ ガキ森デイキャンプ	7/27	ガキ大将の森	八千代
▪ わくわくデイキャンプ	7/下旬	昭和の森	緑区子どもS・C
▪ 公園での遊び支援「放課後どきどきユニット」	毎週月	千葉市西都賀第一公園	Wakaba

講演会・学習会

▪ ミュージカルのためご(プレ体験と説明会)	5/23	佐倉市に市志津ふれあいセンター	佐倉
▪ かかし座「長靴をはいたねこ」事前交流会	5/31	アースメイト	八千代
▪ 作曲ワークショップ	6/27	佐倉市志津コミュニティーセンター	佐倉
▪ 手と手で話そう デフパペットシアターワークショップ	7/11	松戸市健康福祉会館ふれあい22	松戸
▪ 乳幼児とお母さんのための体験と交流の広場	7/13	袖ヶ浦市根形公民館	袖ヶ浦



子どもと文化 イベント情報

◆ **笑って楽しいアカペラコンサート** ◆
 6月26日(土)
 15時の部:乳幼児~小4・おとな対象
 18時の部:小5以上おとな対象
 場所:佐倉市西志津ふれあいセンター
 料金:1,000円(4歳以上)
 主催/(特)NPO佐倉こどもステーション
 Tel. 043-487-1655

◆ **手と手で話そう**
 デフパペットシアターワークショップ
 ~松戸市民活動助成事業~
 7月11日(日)14:00~16:00
 場所:松戸市健康福祉会館ふれあい22
 対象:小学生、中学生
 料金:500円
 11月に文化祭で発表会を行います
 主催/(特)子どもっとまつど
 Tel. 047-386-9154

◆ **「水嶋一江& ストリンググラフィアンサンプル」**
 8月31日(土)
 AM:ワークショップ PM:公演
 場所:印西市文化ホール
 料金:一般1,500円、子ども500円
 主催/印西市文化ホール
 申込み/(特)いんざい子ども劇場
 Tel. 0476-46-6287

◆ **劇団かかし座『長靴をはいたねこ』**
 八千代市文化・スポーツ振興財団共催事業
 7月4日(日) 14:00開演
 場所:八千代市市民会館大ホール
 料金:3,000円(3歳以上)
 主催/(特)子どもネット八千代
 Tel. 047-486-4699

◆ **幼児とお母さんのための体験と交流のひろば**
 7月13日(火) 10:30~12:00
 場所:袖ヶ浦市根形公民館
 料金:親子一組あたり800円
 主催:(特)子どもるーぶ袖ヶ浦
 Tel. 0438-63-2850

※(特)は特定非営利活動法人を略しています
 ※参加申込、場所、参加費、時間等の問合せは
 各主催団体をお願いします。

すべての子どもに届けよう すべてのおとなに知らせよう 2010子どもの日全国キャンペーン

18歳までの子どもがかける電話 チャイルドライン

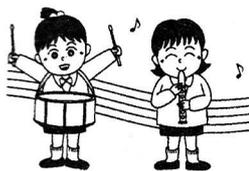
フリーダイヤル **0120-99-7777**

5月5日(祝・水)~5月17日(月) ※日曜含む 16:00~21:00

電話代はかかりません
 携帯・PHS OK

チャイルドラインのやくそく

- ヒミツはまもるよ
- どんなことも、いっしょに考える
- 名まえは言わなくてもいい
- 切りたいときには、切っていい



● 千葉県内子どもと舞台芸術・文化団体一覧

	団体名	Tel.	団体名	Tel.
●	NPO法人 野田子ども劇場	04-7124-8419	● NPO法人 子どもプラザ成田	0476-29-1387
●	NPO法人 流山おやこ劇場	04-7152-0446	● 千葉西おやこ劇場	043-272-1416
●	NPO法人 市川子ども文化ステーション	047-395-7670	● NPO法人 こどもユニットWakaba	043-255-1045
●	NPO法人 市川子ども文化ステーション中央地区	047-376-0813	● 千葉北おやこみるあそび会	043-241-1142
●	NPO法人 市川子ども文化ステーション北地区	047-339-7744	● NPO法人 緑区子どもサポートセンター	043-295-4150
●	NPO法人 市川子ども文化ステーション行徳地区	047-395-7670	● NPO法人 千葉中央おやこ劇場	043-251-0142
●	NPO法人 子どもっとまつど	047-386-9154	● NPO法人 四街道こどもネットワーク	043-423-5381
●	浦安子ども劇場	080-6651-9175	● やちまたおやこ劇場	043-444-6462
●	NPO法人 船橋子ども劇場	047-424-0851	● 長生茂原おやこ劇場	0475-22-3000
●	NPO法人 ならしの子ども劇場	047-451-3676	● NPO法人 子どもるーぶ袖ヶ浦	0438-63-2850
●	鎌ヶ谷おやこ劇場	047-412-0234	● 寺子屋びーだま	0470-44-5828
●	白井子ども劇場	047-491-2163	● NPO法人 いちかわ市民文化ネットワーク	047-339-7809
●	NPO法人 NPO佐倉こどもステーション	043-487-1655	● NPO法人 子育てネットワークゆっくっく	04-7129-8089
●	NPO法人 子どもネット八千代	047-486-4699	● NPO法人 里山会	047-482-4613
●	NPO法人 いんざい子ども劇場	0476-46-6287	● 千葉県子ども核廃	047-457-2065
			● NPO法人 子ども劇場千葉県センター	043-301-7262